

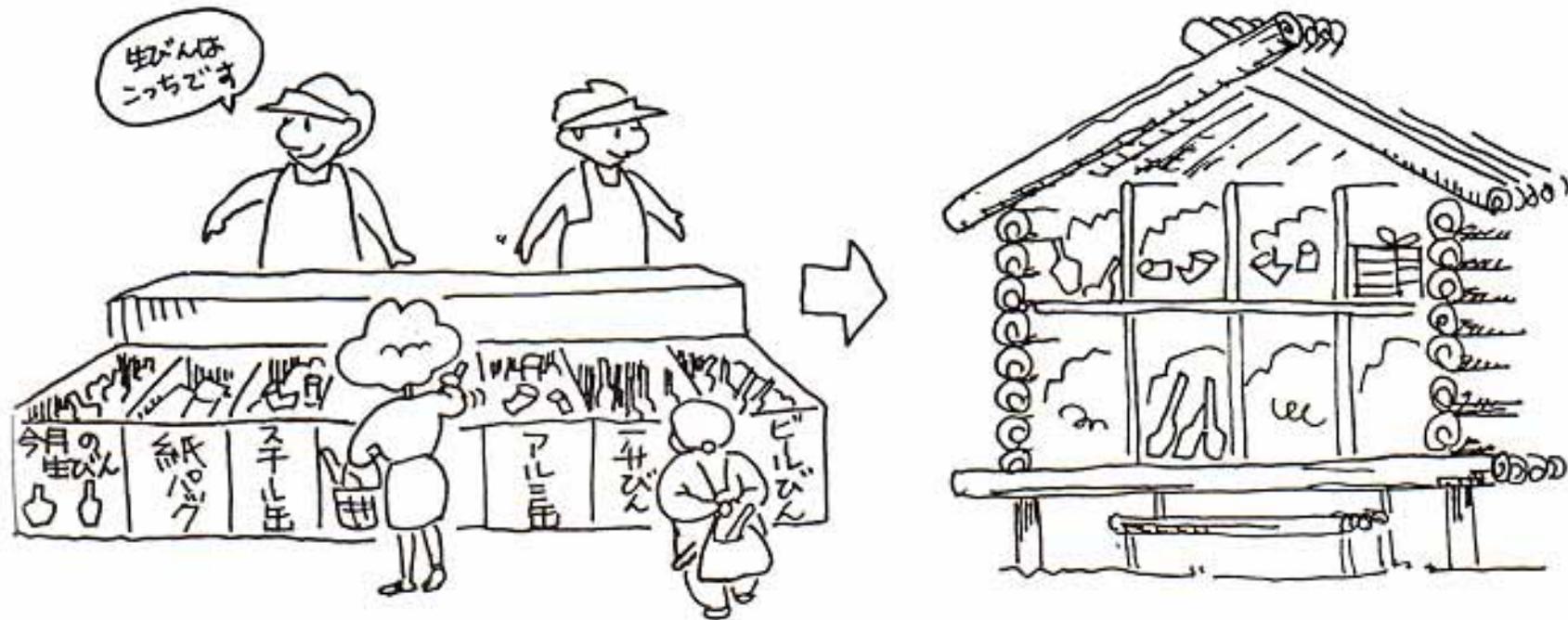
# 上勝町 循環型社会形成への取り組み



上勝町 産業課

# 1994.上勝町リサイクルタウン計画 策定

- リサイクルタウン構想  
資源循環型のまちづくり を目標に設定



リサイクルタウン計画イメージ図

## ・家庭ごみ発生量推計調査

家庭ごみの中で最も発生量の多い物

生ごみ

32.4%

収集時に、臭いや虫の発生源となり、不衛生、  
焼却すると多量の補助燃料も必要となる。



# コンポストまたは、 電気式生ごみ処理機の補助 導入を進める

1台につき 個人負担 10,000円

平成7年から  
現在まで  
コンポストも  
約490台導入  
450台



生ごみは、各家庭で堆肥化 ほぼ100%

- 1997.2 容器包装リサイクル法一部施行に先駆け  
(H9) びん・缶・乾電池等の分別開始
- 1997.12 廃棄物処理法一部改正  
野焼きの禁止、焼却炉の基準改正
- 1998. 2 小型焼却炉の導入  
(H10) 焼却灰の処理が困難
- 1999.4 25 品目分別が始まる

- 2000.1 ダイオキシン類対策特別措置法

小型焼却炉もダイオキシンの測定等が、  
義務づけられる。

2基の焼却炉を測定

1基は、基準を上回った。

- 2000.12 分別資源化をすることで

焼却の量を減らそうと考えた。

2001.1 焼却炉停止

35品目分別の開始



1年のうち年末1日、年始2日を除く362日間  
午前7時30分～午後1時まで毎日受け入れ



品目毎に分別されて何になるのか、  
それによるエネルギー削減効果などを表示

